

# 令和7年第6回（12月）定例会 一般質問通告表

| 順 | 質 問 事 項  | 質 問 者 |
|---|--|-------|
| 1 | <p>◎ 佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想の実現に向けて<br/>【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 佐渡市の財政状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 佐渡市行政運営改革ビジョンの進捗状況</li> <li>② 地方交付税（普通交付税・特別交付税）の交付状況と今後の予測</li> <li>③ ふるさと納税、企業版ふるさと納税、ガバメントクラウドファンディングの推進による財政健全化策</li> <li>④ 米を中心とする佐渡産農林水産物の販売とふるさと納税のバランスは</li> </ul> <p>(2) 持続可能な佐渡づくりの推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① シン・ライドシェア「乗らんかつちゃSaDoGaShima（仮）」の提案</li> <li>② 周辺部地域のNPO設立及び地域おこし協力隊の登用・招聘促進</li> <li>③ 小水力発電の潜在能力</li> <li>④ 特定有人国境離島特別措置法の延長に向けて</li> <li>⑤ 防災・減災対策とアウトドア防災の推進</li> </ul> <p>(3) 世界遺産登録1周年を迎えた観光振興の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 佐渡市観光文化スポーツ部の部間・部内連携の状況</li> <li>② 能舞台利活用プロジェクト「YES！能舞台（仮）」の提案</li> <li>③ ユネスコ世界文化遺産「佐渡島の金山」及びユネスコ世界無形文化遺産「和食」と「伝統的酒造り」のユネスコ3冠の推進</li> </ul> | 室岡 啓史 |

| 順 | 質 問 事 項   | 質 問 者   |
|---|---|---------|
| 2 | <p>1 物価高対策について</p> <p>(1) 市民全体に行き渡る生活支援策にすべき</p> <p>(2) 水道料金の減免について</p> <p>(3) 商品券の配布について</p> <p>2 幼児教育について</p> <p>(1) 民営化の目標時期や具体的な計画策定について</p> <p>(2) 市営の園は認定こども園とすべき</p> <p>(3) 佐渡市としての幼児教育の指針や計画を策定すべき</p> <p>3 給水スポットの設置について</p> <p>4 軟骨伝導イヤホンの市役所窓口導入について</p> | 山 田 伸 之 |

| 順 | 質 問 事 項   | 質 問 者 |
|---|---|-------|
| 3 | <p>1 ごみ問題について</p> <p>(1) 佐渡クリーンセンター基幹改良工事について</p> <p>(2) 一時保管施設設置地域の説明状況</p> <p>(3) 一時保管施設の運用について</p> <p>(4) 全炉停止期間 30 日の収集運搬について委託業者との調整状況</p> <p>(5) 古着リサイクルについて</p> <p>2 保育園等について</p> <p>(1) 統合計画の状況</p> <p>(2) 民間委託の計画について</p> <p>(3) 特に老朽化が懸念される吉井保育園、川西保育園について</p> <p>(4) 今年度より 4 月 1 日から入園できるようになったが、そのサポート体制について</p> <p>3 佐渡汽船について</p> <p>(1) 6 月の一般質問で船舶の更新について質問したが、その進捗状況について</p> <p>(2) 新潟市との協議会について</p> <p>4 医療について</p> <p>(1) 6 月の一般質問で佐渡市として島外の病院へ受診している方の実数の把握をし、制度の拡充も今後は必要とを感じるが検討できないかと質問したが、進捗状況について</p> <p>(2) 佐渡病院の今後について、診療科の維持方針、来年度の設備や行政支援の考え</p> | 平田和太龍 |

| 順 | 質 問 事 項   | 質 問 者   |
|---|---|---------|
| 4 | <p>1 再生可能エネルギーについて</p> <p>(1) 佐渡産の木質バイオマスの可能性について</p> <p>(2) メガソーラー（大規模太陽光発電所）のリスクや規制の必要性について</p> <p>(3) PPA事業における採算性について</p> <p>2 2027年の蛍光灯製造中止に対する公共施設のLED化の進捗状況について</p> <p>3 空き家活用について</p> <p>(1) ビジネスコンテストの課題解決型における空き家活用の実績について</p> <p>(2) 空き家改修費補助金の対象設定について</p> <p>4 改正労働施策総合推進法を受けたカスタマーハラスメントへの対応方針について</p> <p>5 生涯学習や地域人材の確保・育成について</p> <p>(1) 公民館運営審議会の取組状況について</p> <p>(2) 放送大学との連携について</p> <p>(3) 生涯学習センターについて</p> <p>(4) 生涯学習コーディネーターの資格認証とその活用について</p> <p>(5) 学校運営協議会の委員に対する情報提供や教育機会について</p> <p>(6) 地域人材の把握・活用における課題について</p> | 村 川 拓 人 |

| 順 | 質 問 事 項   | 質 問 者 |
|---|---|-------|
| 5 | <p>1 地域計画並びに中山間地域等直接支払制度について問う</p> <p>(1) 地域計画について</p> <p>① 地域計画の区域の状況で、規模縮小などの意向がある面積について、今後の対応は</p> <p>② 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計がゼロヘクタールの場合の対応は</p> <p>③ 地域農業の現状及び課題の整理で遊休農地の増加に対し、新規就農や地域住民を交えた農地利用の仕組みが提起されているが、具体的にはどのような施策を検討しているか</p> <p>④ 農地の集約化を進展する目標地図の作成状況はどうなっているか</p> <p>(2) 中山間地域等直接支払制度について</p> <p>① 第6期中山間地域等直接支払制度に参加する協定数や面積など第5期との比較と課題は何か</p> <p>② 中山間地における農地管理で畦畔管理が課題である。津南町「畦畔管理支援事業」を参考に佐渡市でも取り組むべき</p> <p>2 佐渡市行政組織条例等の一部を改正する条例の制定について問う</p> <p>(1) 現在の支所体制を変更する理由と地域について問う</p> <p>① 11月10日の議員全員協議会資料の現状・課題で「地域によって市民サービスに偏りがある」とは、具体的にどのようなことを指しているのか。また、今回の改正でどのように偏りがなくなるのか</p> <p>② 支所廃止、市民センター統一により目指す住民サービスは何か</p> <p>③ 支所・行政サービスセンターは、地域住民にとってよりどころであり、縮小ではなく拡充が必要ではないか</p> <p>④ 組織再編にあたっては、地域づくりの視点が同時に示されてこそ市民に理解が得られる。縮小再編では単に縮こまるだけではないか</p> <p>(2) 教育委員会に子ども若者課の事務を委任することについて</p> <p>① 地方自治法・教育行政法など権限の根拠等で問題点はないか検証したか</p> <p>② 教育委員会の独立性と責任について問題はないのか</p> <p>③ 子育てでは福祉分野との連携が重要だが、かえって縦割り行政になるのではないか</p> <p>④ 学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について、今回の組織変更により充実するのか</p> <p>⑤ 子育てにおいて養育費の確保は重要だが、弁護士紹介、公正証書作成、家事調停、ADR利用などの相談や助成が組織変更で充実されるのか</p> <p>3 香害及び化学物質過敏症について</p> <p>香害とは、柔軟剤や消臭除菌スプレー、制汗剤、芳香剤、合成洗剤などの強い香りを伴う製品による健康被害のことである。好き嫌いではなく、体臭は含まれない。頭痛やめまい、目や喉の痛み、せき、吐き気などさまざまな症状が起き、「化学物質過敏症」という病気を発症して重症化するおそれがある。香害は子供たちにも広がっている。日本臨床環境医学会の分科会と室内環境学会の分科会が2024年度、小中学生約8,000人に行った調査によると、10.1%の小中学生が「香害による体調不良の経験がある」と報告されている</p> <p>(1) 化学物質に敏感に反応する子供たちについて調査し、香料製品等の自粛を提案すべき</p> <p>(2) 災害時の避難所運営には、香料等の化学物質で体調不良を起こす化学物質過敏症患者等を要配慮者として扱い、防災計画や避難所運営マニュアルにも必要な配慮を明記すべき</p> | 佐 藤 定 |

| 順 | 質 問 事 項   | 質 問 者   |
|---|---|---------|
| 6 | <p>1 観光、文化、スポーツ行政の連携と誘客体制について</p> <p>(1) 観光振興課、文化スポーツ課、世界遺産課の部内三課の連携と所管組織との連携について</p> <p>(2) 観光振興課と（一社）佐渡観光交流機構との連携による誘客体制について</p> <p>(3) 文化スポーツ課と（一財）佐渡スポーツ協会との連携による４大スポーツ大会の誘客と波及効果について</p> <p>(4) 佐渡の歴史、文化の情報発信と博物館、資料館等の施設管理、運営について</p> <p>(5) 新潟市、長岡市、上越市、会津若松市との観光連携事業による誘客（交流）について</p> <p>2 姉妹都市埼玉県入間市、東京都国分寺市の姉妹都市交流や山梨県笛吹市との交流促進について</p> | 坂 下 善 英 |

| 順 | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|---|--|---------|
| 7 | <p>1 自主防災組織は機能しているか</p> <p>(1) 自主防災組織が機能することでどんな効果があるか考えるか</p> <p>(2) 自主防災組織の枠組みはどんな組織単位を考えているか</p> <p>(3) 防災課の職員数が限られた中で災害が起きた場合、市民との情報共有はどのようにするか</p> <p>2 佐渡空港 2,000 メートル化の着工は何年後を目指しているか</p> <p>(1) 佐渡空港が 2,000 メートル化になることで佐渡市にとってどんな効果があると想定しているか</p> <p>(2) 佐渡空港 2,000 メートル化計画の予算規模はどのくらいか。また、佐渡市の負担割合はどのくらいか</p> <p>(3) 2,000 メートル化計画の近くに前方後円墳が発見されたが、計画の妨げにはならないか</p> <p>3 世界遺産登録になったが、島外小中学校の修学旅行の受入数が減少しているのはなぜか</p> <p>(1) 県内の多くの学校から修学旅行先に佐渡を選んでもらっていたと思うが、いつから減少し、どのくらいの学校数、人数が減少しているのか</p> <p>(2) 減少の原因はどんなことと分析しているか</p> <p>(3) 島外の子供たちから佐渡の魅力を知ってもらう努力はしているか</p> <p>4 県知事の柏崎刈羽原発再稼働容認を受けて、佐渡市の原発に対する対応に変化はあるか</p> <p>(1) 福島原発級の事故が柏崎刈羽原発で起きた場合、佐渡市の避難計画はどのようなになっているか</p> <p>(2) 11 月 28 日の新潟県の市長会で県知事の再稼働容認を「尊重する」との報道があったが、渡辺市長はどんな発言をしたか</p> | 中 川 健 二 |

| 順 | 質 問 事 項  | 質 問 者 |
|---|--|-------|
| 8 | <p>1 漫画を活かしたまちづくりについて</p> <p>(1) 現在佐渡市において、漫画を活かした政策・事業は行われているのか</p> <p>(2) 新潟市をはじめとした、漫画を活かしたまちづくりを行っている先進地への視察等に行っていないのか</p> <p>(3) 聖地巡礼と言われる、漫画に登場した舞台をめぐる観光は佐渡ではないのか。あるとしたらどの程度の経済効果があると佐渡市では分析を行っているのか</p> <p>2 交流人口増加政策について</p> <p>(1) 佐渡の文化をはじめとした魅力を発信され、定期的に佐渡にお越しいただいている方々への支援施策は何か行っていないのか</p> <p>(2) 一定の成果を出している団体などに支援が必要なのではないか</p> <p>(3) 2等往復カーフェリー代を島民価格まで支援したとして、どれだけの消費をしてもらえば、支援を投資として考えた場合に回収できると分析しているのか</p> <p>3 各事業の目標設定について</p> <p>(1) 各事業における目的はある程度妥当なものが多いが、それに付随する目標設定が弱いと感じる。予算査定の際に目標設定をどのように行っているのか。また、足りないと感じる場合に、指導はどのように行われているのか</p> <p>(2) その目標に対して、どのように進捗管理を行っているのか</p> <p>(3) 目標未達に終わった事業については、どのような反省を行い、翌年の事業に反映させているのか</p> <p>4 将来のまちづくりについて</p> <p>(1) 現在の佐渡市の行政区はいくつあるのか</p> <p>(2) 合併後の行政区の再編計画はどのように進んでいるのか</p> <p>(3) コンパクトシティにして福利厚生の実現を行う案も市民の方からいただいたが、市長は今後どのようにしていく考えか</p> | 川 原 茂 |



| 順 | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|---|--|---------|
| 9 | <p>1 県知事の柏崎刈羽原発の再稼働容認について</p> <p>(1) 県知事は再稼働について、選挙公約で県民に信を問うとしていたにもかかわらず、意識調査を経て、再稼働を容認することを明らかにしたことについて、市長の見解は。また、11月28日の県市長会ではどのような意見を発言したか</p> <p>(2) 県知事が最終的判断を12月県議会に委ねて地元同意の正式判断とすることへの批判も強いが、市長の見解は</p> <p>(3) 県実施の「県民意識調査」で佐渡市民の状況は確認しているか。公開すべきではないのか</p> <p>2 地域医療について</p> <p>今年度で廃止となる放射線治療への対応は。県との協議はどうなったのか</p> <p>3 市組織改編について</p> <p>来年度からの大きな組織改編を市民はほとんど知らないが、どうなるのか</p> <p>(1) 支所の廃止と教育委員会について</p> <p>① 教育委員会に市長部局の保育行政全般を所管させることに法的瑕疵がないか。法的な問題に関わることであり、明確に根拠を明らかにしてほしい【法的な瑕疵】</p> <p>教育委員会所管目的、何がどう変わるのか。また、教育委員会でどのような議論をしたのか</p> <p>② 佐渡市合併以降、地域拠点となる支所の扱いは重要課題であった。また、合併協定書や新市建設計画、総合計画では、「大佐渡」、「国仲」、「小佐渡」での地域発展方向を計画してきたが、その中心的拠点の両津、相川、羽茂の3支所を全て廃止後の方向性はどうするのか。全てが出張所（市民センター）になりどうなるのか</p> <p>③ 出張所の上部組織の「センター統括監」の具体的役割。上下水道だけを本庁直轄で両津、相川、羽茂に配置する理由。地域包括ケアを構築等の福祉分野など、地域に必要な分野はないか検討したのか【地域の発展方向の変更】</p> <p>④ 両津支所は、合併特例債事業として、「両津支所・公民館・図書館建設事業」約18.3億円超と隣接の佐渡島開発総合センターの改修等で、支所、図書館、公民館、防災拠点として、教育委員会が入ることが前提で建設改修され、その後、文化会館解体に伴い公民館ホールにも多額の予算を使ったが、これらの総額はいくらか</p> <p>有効活用こそ必要だが、今後の方向性はどうするのか【両津支所関連の建設改修など費用総額と方向性】</p> <p>⑤ 教育委員会移転に伴い、中央公民館の本庁（金井）への移転理由。今後の地区教育事務所、公民館活動の在り方等</p> <p>(2) 最上位計画との関連等</p> <p>① 「将来あるべき佐渡の姿と長期的な展望を市民と共有し、総合的かつ計画的な市政運営を図るための最上位計画」（市長はじめに）の「総合計画」は令和8年度が「前期計画」の最終年で「実施計画」をPDCAサイクルでの検証と「後期計画」策定年度となる。その検証議論の中で市組織の在り方は考えるべきではなかったのか。また、検証と次期計画の策定はどのようにして行うのか</p> <p>② 地方自治法改正（2024年9月施行）の「指定地域共同活動団体＝地域運営組織（RMO）」への取組及び国の財政支援の内容</p> <p>指定地域共同活動団体制度は、人口減少等の課題に取り組める施策と</p> | 中 川 直 美 |

| 順 | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|---|--|---------|
| 9 | <p>なっており全国的に広がっているが、このようなものを組み入れた地域の<br/>出先機関の在り方を検討すべきではないか</p> <p>4 職員研修について<br/>地方自治体の最も基礎となる地方自治法関連の研修は行っているのか</p> | 中 川 直 美 |

| 順  | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|----|--|---------|
| 10 | <p>1 地域人手不足解消と関係人口創出に向けた短期求人プラットフォームの活用について</p> <p>(1) さどマッチボックスの評価と課題について</p> <p>(2) 島外ワーカーを直接誘致するための制度の提案について</p> <p>(3) 運營業務委託料5,500千円の費用対効果について</p> <p>(4) 複数の外部プラットフォームとの連携協定と役割分担について</p> <p>(5) 農業など第一次産業における短期就労者の獲得について</p> <p>2 担い手への農地集積を支える集落機能の維持と、地域住民による農地協働管理モデルの導入について</p> <p>(1) 新潟県津南町「畦畔管理支援事業」をモデルとした事業の導入について</p> <p>(2) 当市における「集落内の非担い手が担い手を応援する」取組の実態について</p> <p>(3) 今後の農業・農地の維持に対する市長の所見について</p> <p>3 ふるさと納税について</p> <p>(1) 令和7年度の現状と課題分析について</p> <p>(2) ふるさと納税型クラウドファンディング導入に向けた具体的な計画について</p> <p>4 職員の人事異動時期の弾力化について</p> <p>(1) 今年度実施した7月異動の評価について</p> <p>(2) 今後の異動時期の柔軟な設定について</p> | 坂 下 真 斗 |

| 順  | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|----|--|---------|
| 11 | 1 横断歩道、バス停周辺、歩道、通学路、校内、市営住宅の通路の除雪について、県に要望を出して返答は来ているか<br>2 南線の竹田地内の花壇、また、他の花壇管理について問う<br>3 市道脇の清掃作業について問う<br>4 佐渡総合病院の医療機材を更新しなくてもよいか<br>5 朝一番のカーフェリーに乗船できるようにデマンドバス等運行できないか<br>6 決算審査特別委員会の財政課審査の折、違法性のあるものがあつたと質疑があつたが、どのような調査をしたか<br>7 真野ふるさと会館の調理場が使用できない時は、金井コミュニティセンターの調理場を使用するとのことだが、交通対策はしてあるのか。また、真野ふるさと会館の駐車場は、以前の説明のとおり管理しているか | 山 本 健 二 |

| 順  | 質 問 事 項   | 質 問 者   |
|----|---|---------|
| 12 | <p>1 支所の市民センター(仮称)移行について<br/>支所・行政サービスセンターを市民センター(仮称)に見直す案が出ている</p> <p>(1) 市民センター(仮称)の事務分掌は何か</p> <p>(2) 支所と地域とのつながりが希薄にならないか</p> <p>(3) 支所での機動性が損なわれないか</p> <p>(4) 更に教育委員会移転に伴い、街の賑わい喪失につながらないか</p> <p>2 学校給食無償化について<br/>自民党、日本維新の会、公明党の3党は、2月に3党合意を結び、いわゆる給食無償化について「まずは小学校を念頭に、地方の実情等を踏まえ、令和8年度に実現する」とし、検討に入っていると報道されている。当動向について、市長の見解を問う</p> | 栗 山 嘉 男 |

| 順  | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|----|--|---------|
| 13 | <p>◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする</p> <p>1 障がいのある市民の立場に立った行政サービスについて</p> <p>(1) 昨今、職員の態度について「障がい者に冷たい」、「上から施されている」、「普通の対応をされない」、「いじめないでほしい」といった嘆きが当事者たちから次々に寄せられてきて残念であるが、障害福祉サービスはどうなっているのか。行政サービスにおいて、なぜ「いじめられている」と当事者が訴えるような事態が起きるのか、当事者たちに分かりやすい説明を求める</p> <p>(2) これらの嘆きに対して、必要であれば当事者への謝罪を求める</p> <p>(3) 原因を整理し、今後どのように障がい福祉サービスを進める方針を確認するのか</p> <p>2 教育行政と福祉行政を統合するメリットについて</p> <p>(1) 乳幼児期から学童期までの発達支援の充実について</p> <p>① 一般的に学年が上がるにつれ学習が困難に感じる子どもがいる。そのための佐渡市の発達支援策は具体的にどこがどう講じているか</p> <p>② 子ども若者相談センターに設置されている「箱庭療法」の有効性を保育園、小中学校に紹介し、その利用が必要または希望する子どもが活用できるような策を講じてはどうか</p> <p>③ 加えて、どの子どもにも「感覚統合」は有意義で、特に発達支援が必要な子どもには有効な療育・教育設備である。この導入を求める</p> <p>(2) 学校現場の介助員の業務改善について</p> <p>① 介助員の業務所掌はあるのか</p> <p>② どの資格、経験を介助員に求めているか</p> <p>③ 研修は何を目的に、いつどの計画に基づいて遂行されているか</p> <p>④ 介助員の配置は、いつ何を基準にして決められているのか。子どもの発達や特性を勘案して決められているか</p> <p>(3) 発達障がいのある子どもの育て方相談体制の確立について</p> <p>① 子どもの発達の問題について、日常的かつ継続的に相談できる体制は、誰がどこでどのように受け付けるようになっているか</p> <p>② 今後どのようにする方針か</p> <p>3 人権啓発推進の継続について</p> <p>佐渡人権展を佐渡市独自に展開していることは高く評価されている。この継続について、その必要性をどう考えているか</p> <p>4 柏崎刈羽原発の県知事「容認」発言について</p> <p>(1) 花角新潟県知事は、福島第一原発事故後の延々と続く処理現場も視察し、事故後の実害と不利益の全てを把握し、理解してきたものと受け止めている。柏崎刈羽原発が再稼働するとなった場合の事故時の佐渡市への避難計画の不在による実害、不利益への対応はどうなっているのか。何か条件や取決めはあるのか</p> <p>(2) 様々な事故をシミュレーションした避難計画の不在による不利益、損害に対する具体的な要望を佐渡市から求めるべきと考えるが、どうか</p> <p>5 持続可能な博物館行政の推進について</p> <p>(1) 観光資源にするために所管替えした効果は発揮できているか。入館者や入館収入はどう増えているか</p> <p>(2) 観光客のみならず市民にとっても魅力的でいつでも行って再び学ぼうという博物館になっていないところが多い。博物館の魅力である実物がなさすぎではないか。誘客のための博物館の魅力が未整理なのはなぜか</p> | 荒 井 眞 理 |

| 順  | 質 問 事 項  | 質 問 者   |
|----|--|---------|
| 13 | <p>(3) 保管資料は全て活用できる状態になっているか。整理計画は立ったのか</p> <p>(4) 博物館サービスの申請から回答が得られるまでに時間がかかりすぎるのはなぜか</p> <p>(5) 学芸員はじめ職員確保に大きな問題がある。博物館業務に専念する職員の増員を求める</p> <p>6 下水道老朽化問題への対応について</p> <p>(1) 老朽化と共に人口減少による利用収入減と職員の人材不足は、足元の大問題である。これらの問題を踏まえた今後の下水道整備の考え方を問う</p> <p>(2) 全国で下水管の破損が重大事故の原因にもなっているが、老朽化した下水管を佐渡市はどうするのか。地域の安全を保障できるか</p> <p>(3) 今後の下水道整備方針には住民との協議が必要となる。早く下水道整備の方向性を市民に説明することを求める</p> | 荒 井 眞 理 |